

黒毛和種種雄牛の枝肉形質ゲノム育種価評価

○西川 早百合¹ 小林 宙¹ 片岡 博行¹ 杉本 喜憲² 渡邊 敏夫³

¹ 岡山県農林水産総合センター畜産研究所

² (公社) 畜産技術協会附属動物遺伝研究所 ³ (一社) 家畜改良事業団



目的

黒毛和種種雄牛の選抜にゲノム育種価を活用できるか、枝肉形質のゲノム育種価を算出し、以下の検討を行った。

1. ゲノム育種価と従来育種価との相関
2. 全きょうだいのゲノム育種価比較と能力シミュレーション

結果

1. ゲノム育種価は従来育種価と高い相関
 2. ゲノム育種価により全きょうだいの能力を比較でき、両親による期待分布とも比較可能
- ゲノム育種価は従来育種価と高い相関で利用でき、全きょうだいなど従来行えなかった個体の評価にも利用可能。

1. ゲノム育種価と従来育種価との相関

材料と方法

訓練群：黒毛和種肥育個体17,125頭（去勢15,576、雌1,549）

または22,273頭（去勢20,004、雌2,269）

対象形質：枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、皮下脂肪厚、歩留基準値、脂肪交雑

母数効果：市場（23または25）、年次（2000 - 2018）、月齢（1次、2次）、性

SNP選択：SNPコールレート：0.95以上

マイナーアリル頻度：0.01以上

Hardy-Weinberg平衡検定P値：10⁻⁴以上

常染色体上

使用SNP数：30,623または30,361

SNP効果推定法：G-BLUP法（AI-REMLにより分散成分推定）

従来育種価：岡山県内41,506頭または42,407頭の肥育牛及びその祖先を含め算出

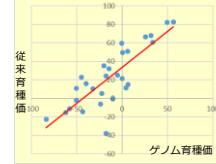
検討種雄牛：27頭または28頭（従来育種価正確度平均0.95以上）

ゲノム育種価と従来育種価との相関係数

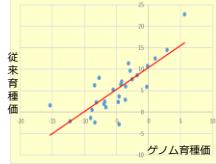
訓練群	枝肉 重量	ロース 芯面積	バラの 厚さ	皮下 脂肪厚	歩留 基準値	脂肪 交雫
22,273頭	0.82	0.80	0.85	0.61	0.65	0.91
17,125頭	0.79	0.75	0.84	0.56	0.58	0.89
1,800頭*	0.78	0.68	0.84	0.55	0.63	0.82

*第119回大会報告（検討種雄牛は24頭）

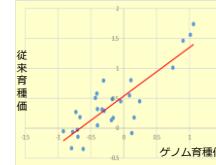
枝肉重量 ($r=0.82$)



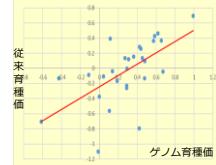
ロース芯面積 ($r=0.80$)



バラの厚さ ($r=0.85$)



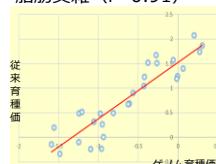
皮下脂肪厚 ($r=0.61$)



歩留基準値 ($r=0.65$)



脂肪交雫 ($r=0.91$)



2. 全きょうだい比較、能力シミュレーション

材料と方法

訓練群：黒毛和種肥育個体10,869頭（去勢10,419、雌450）

母数効果：市場（12）、年次（2000 - 2015）、月齢（1次、2次）、性

使用SNP数：32,172

※他は1. と同様

検討牛：全きょうだい雄子牛3頭

能力シミュレーション

①両親のディブロタイプを推定

②SNP間の距離に応じた確率で組み換えを起こさせ、ハプロタイプを子どもに渡す

③5000回繰り返す

④ゲノム育種価を算出し、確率密度を推定

全きょうだい及び両親のゲノム育種価

	枝肉 重量	ロース 芯面積	バラの 厚さ	皮下 脂肪厚	歩留 基準値	脂肪 交雫
産子A	23.98	1.59	0.15	0.12	-0.12	0.21
産子B	34.12	3.85	0.40	0.12	0.31	0.52
産子C	10.58	2.28	-0.34	0.01	-0.07	0.21
両親平均	39.95	2.47	0.22	0.19	-0.19	0.53
父	60.30	6.49	0.28	-0.06	0.32	0.79
母	19.60	-1.55	0.16	0.43	-0.71	0.26
両親差 (σ) *	1.16	1.69	0.26	1.44	1.38	1.10

*訓練群10,869頭における値

